

# 6/24 枚方のまちづくりを考える市民ネットワーク主催 『市民がつくるシンポジウム』に参加を!



新  
婦  
人  
ひ  
ら  
か  
た

三  
支  
ユ  
ー  
ス  
部

5月25日枚方市が市駅周辺の再整備についてのシンポジウムを開きました。参加した市民からは、市民と作り上げるためのシンポジウムではないと感想が寄せられています。

市民ネットワークは当日、会場の総合文化芸術センター周辺の4カ所、新しくつくったチラシを配り、宣伝し6月24日(土)の市民ネットワークのシンポジウムへの参加を呼びかけました。350人のホールいっぱいにして、反対の声をひろげましょう!

## 市のシンポジウムに参加した方の感想

500人近くの参加でした。企業や役所関係が3分の2くらいで、3分の1が一般市民でした。市長はプレゼンでは移転条例否決には触れませんでした。

パネラーの1人、実行委員会を組織して花火の打ち上げをしたという人は、「花火をしたいと枚方に移住してくる人がいる、そういう人たちと枚方を活性化させたい。枚方はソフトは充実しているがハードが不足している。ハードを充実させるのが行政の仕事だ」と発言、銀行の支社長は三十石舟を伏見まで渡したい、淀川の底の浚渫工事を訴えたら5億円の補助がおりたと発言しました。

市長のプレゼンも、花火の人、銀行家、UR機構のパネラーたちは結局、駅前開発でハコモノや人集めの事業(タワーマンションやアリーナ etc)でお金儲けをしたいとしか聞こえませんでした。

女性や市民のパネラーがなく、市民の願いの意見が聞けなかったのは残念でした。

大学の先生が「ドイツでは貸倉庫のなかに模型を作って市民と当局がお茶を飲みながら街づくりについての話し合いをしている」と話されました。そんな街づくりを市と一緒にしたいと思いました。

市民ネットワークの宣伝

市民ネットワーク主催

## 市民がつくるシンポジウム

6月24日(土) 14時~16時半

総合文化芸術センター別館(旧メセナ)

メセナホール2F

基調講演: 中山 徹さん(奈良女子大学教授)

資料代300円 予約不要

平日昼間の会でしたが、背広姿の会社員やスーツ姿の女性も来ており、何か違和感を感じました。「どこかで動員されたのかな」と思いました。

市長のプレゼンテーションは、抽象的な「緑の大空間」とか「交通導線の強化」「街中居住」などの内容の少ない説明で、具体的にどのように再整備するかの話は全くなく、何のためのシンポジウムかわかりませんでした。

また、昨年秋に、市役所移転の議案は否決されているのに、そのことは全く触れられませんでした。議会が認めないということは民意がそうだということなので、民意を尊重する行政は改めて対案を提出するのが当然だと思います。

その後続いたパネルディスカッションは、金融機関のえらいさんなどが参加し、「空飛ぶ自動車で奈良に20分で行くことができて便利になる」「公園を作り若者をもっと呼び込み賑やかにしよう」など目先の金もうけのことばかりでした。

少子高齢化する枚方になにが必要かという視点に欠け、こんなパネリストばかりでなく、もっと生活者視点に立つパネリストの人選が必要と感じました。人が集まり、話し合ったという実績づくりの会に参加したのかと少し情けなく思いました。